

中小企業振興会議 商業振興検討部会 議事要旨

日時	平成30年9月28日（金）午後6時から午後8時まで
場所	東大阪市役所総合庁舎12階会議室
出席者	○中小企業振興会議委員5名、 加藤委員、茨木委員、大西委員、下山委員、光岡委員 (欠席：新澤委員、和合委員)
	○事務局 東大阪市経済部商業課 米田課長、藪内総括主幹、高野主査
案件	「東大阪市商業振興ビジョンを踏まえた振り返り」について

会議の経過は以下のとおり。

【1. 会議の目的】

- ▶ 東大阪市商業振興ビジョン（以下、「振興ビジョン」）の3つの基本方向に基づき商業振興の新たな視点として、意欲のある元気な若手商店主を発掘し、商店街の枠を超えた新たなグループの支援を行ってきた。主要事業となる商業振興コーディネート事業における若手商業者グループ「若江岩田きらりプロジェクト」の活動内容や課題等を中心に紹介し、同プロジェクトに関する質疑や意見交換を行った。その後同事業における個店型支援である「東大阪ショウテنز」等の事業内容の紹介を行い、同事業についての議論、意見交換を行なった。最後に直近3年間の中小企業振興施策実施状況について説明を行い、意見交換を行った。

【2. 会議の総括】

- ▶ 振興ビジョンに基づくコーディネート系事業の実践を通じて、商業振興のサポート体制があったからこそ、やる気のある若手商業者の発掘や応援ができており、行ってきた取り組みの方向性は間違っていない。今後はこの取り組みを強化していくべきである。意欲のある商業者を中心に支援を行い、様々な活動が地域に広がっていきけるような仕組みを考えていくべきである。

【3. 質疑・意見要旨】

＜コーディネート事業＞

- ▶ **（委員）** イベント時のチラシ作成やSNS発信に対する補助はあるのか。
- ▶ **（事務局）** 商業振興コーディネート事業についてはコンサルが入っていたため、チラシ作成やSNS発信の方法等をマニュアル化することも含めてグループが自立できるよう、コーディネートしていただく内容となっていた。
- ▶ **（委員）** 商業振興コーディネート事業費のモデル地区へとコンサルへの支払い内訳はどうなっていたのか。
- ▶ **（事務局）** モデル地区を公募、選定した後、イベント経費、チラシ作成費等も含めた形でモデル地区に対する支援を一括してコンサルへ委託する仕組みであった。
- ▶ **（委員）** どれぐらいの費用をコンサルに支払っていたのか。
- ▶ **（事務局）** 1つの事業を例に申し上げると、1年目が240万円、2年目が270万円となる。ただ、それ以降、モデル地区におけるグループは自立され、市からの補助なしでイベントを行われる等活動を続けている。
- ▶ **（委員）** チラシを新聞折込しても新聞を取っていない人が増えている。SNSの方が拡散され

れば効果的な広報媒体となるのではないか。

- (委員) 地域情報を発信する各メディアを活用する方法もある。
- (委員) 空き店舗を使って職業体験してもらうのも良い。
- (委員) 布施の商店街の空き店舗を活用したセカイホテルが今週開業した。こちらは旅館業法による許可を得た簡易宿所となり、受付が必要であり、365日営業が可能となるものである。
- (委員) 古い工場のイメージとして古びたトタン等を施設内に取り入れており、市内企業の製品を使用する等モノづくりのまち東大阪のアピールを行っている。
- (委員) 布施の商店街が活気づくので良かったのではないか。起爆剤になり得るので仕組みづくりが大事である。
- (委員) なぜ、セカイホテルは布施を拠点とされたのか。
- (委員) 立地の良さではないか。
- (委員) 新法による民泊だと思っている人が多い。ゴミ等きちんと処理するのかという心配の声もあった。市の所管はどこになるのか。
- (事務局) 健康部の環境薬務課となる。
- (委員) セカイホテルの宿泊には食事がついていないので、近隣の商店街を利用してもらえれば活気づく。実際に商店街と連携したサービスもあると聞いている。
- (委員) 結局、まちを活性化させるのは不動産だと思う。他市の商店街でも空き店舗を改装し、価値を生み出している取り組みがある。
- (委員) 品川区では簡単な英語で外国人を案内するような取り組みもある。
- (委員) 観光協会では、2人のガイドボランティアが英語を勉強中である。交渉すれば、セカイホテルのロビーに常駐させてもらい、案内ができるかもしれない。
- (委員) 昨日のインバウンドセミナーでは英語が話せなくても、伝えたいという気持ちがあれば伝わると教わったが。
- (委員) 外国語メニューを作成するのに補助金はでるのか。
- (事務局) 昨年度、市の補助金メニューである商店街活性化地域連携事業の中で、大阪樟蔭女子大学と花園本町商店会が連携され、指さし会話シートを作成された。現在、商業課のホームページにも掲載し、自由にダウンロードできる。また、昨日のインバウンドセミナーでもご案内させていただいたが、大阪府が作成している多言語メニュー作成支援ウェブサイト「TASTE OSAKA」というものがある。こちらは無料でメニューが作成できるので、こういったものを活用していただきたい。
- (委員) 実際に外国人の方があまり来られていないので、取り組もうという商店街が少ないのかもしれない。
- (委員) 商店街の空き店舗は元物販が多い。飲食店は入店が増えてきた。
- (委員) たこ焼等すぐに食べられるものが外国人には好評だ。立ち飲みの店等も面白い。ワンコインのセット等があれば分かりやすくていいのではないか。
- (委員) 今後は、交流人口をどのように取り込んでいくかが重要である。
- (委員) 来年ラグビーワールドカップが市内で開催されるが、市内に宿泊施設は十分にあるのか。マスコミの人等はどこに宿泊するのか。
- (事務局) 昨年、長田に1箇所ホテルが新設されたが十分とはいえない。大阪市内に宿泊される方が多いと思う。
- (委員) 今までのコーディネート事業で市が感じたことはどのようなことがあったか。
- (事務局) 市としても補助金メニューを用意しているが、一定の時期以降は申請してくる団体

がない。職員が地域を巡り声を掛けても手があがってこない状況であった。そのため、個店型支援に切り替え、「東大阪ショウテنزの冊子」を作成した。

- (委員) 商店街側からすると補助金メニューが使い難いと思っているかもしれない。そのあたりのすり合わせが必要ではないか。
- (委員) 加えて商店街側の意識改革が必要かもしれない。
- (委員) どこの商店街でも同じような問題を抱えているなら、そのあたりをコーディネートするのもいいかもしれない。
- (委員) 昨年、市が作成されたラグビーグッズの中でつり銭トレイは人気グッズとなった。
- (委員) 好評であれば、販売してもいいのではないか。
- (委員) 観光協会でも昨年、一澤帆布とコラボさせていただき作成した「聖地花園カバン」が人気となった。今年も一澤帆布とコラボさせていただき、違う大きさのカバンを作成する予定である。ラグビーをアピールして商業が活性化するのは良いと思う。

#### < 中小企業振興施策実施状況 >

- (委員) 目標の指標設定方法が分からない。適正かどうか判断することが難しい。
- (事務局) 指標の設定方法が正しかったのかどうかということはあるが、予算が確保できた件数で設定したものもある。今後の指標設定方法については、検討する余地がある。
- (委員) 空き店舗活用補助金については、30年度から内容を変更したと思うが。
- (事務局) 申請があまりなかったもので、30年度からは申請しやすい方法に変更した。今までは申請していただき、審査会を開催した上で決定を行っていたが、今年度からは補助額を引き下げる代わりに審査会をなくし、決定が早くできるように変更したが、現在のところ申請がない。なお、初めて創業する方にはあきんど塾の受講も条件としている。

#### 【4. 配布資料】

- ・ 資料1 商業振興検討部会資料
- ・ 資料2 コーディネート事業実施までの流れ
- ・ 資料3-1 商業振興コーディネート事業の概要
- ・ 資料3-2～3-3 商業振興コーディネート事業の実績
- ・ 資料4-1 元気グループコーディネート事業の概要
- ・ 資料4-2 元気グループコーディネート事業の実績
- ・ 資料5-1～5-2 商業振興コーディネート事業の実績（個店支援）
- ・ 資料6-1 中小企業振興施策実施状況（まとめ）
- ・ 資料6-2～6-4 中小企業振興施策実施状況（27年度～29年度）
- ・ 参考7 （参考）商業振興検討部会委員名簿